

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2022～2023年度 国際ロータリー ジェニファー E. ジョーンズ 会長テーマ

IMAGINE ROTARY イマジン ロータリー

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 小川 耕 示
幹事 丹羽 克 誌
会報委員長 石川 友 美

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第3198回例会プログラム

[当年度=37回目；当月=5週目]

2023年（令和5年）5月29日(月)

1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

- 12:00 〈食 事〉
12:28 1. チャイム
12:30 2. 点 鐘……………〈副会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱……………四つのテスト
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 副会長挨拶並びに副会長報告
7. 新会員挨拶……………^{はっとり}服部 ^{さとる}智 会員
8. 退会会員挨拶……………^{まぐち}菊地 ^{やすひで}康英 会員
^{にわ}丹羽 ^{もとみ}基実 会員
9. 幹事報告
10. 出席報告
11. 委員会報告
12. ニコニコボックス報告
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(6/5) ……
卓話 「刈谷市と民間企業の連携～
ゼロカーボンシティとスマートシティ」
講師 刈谷市企画財政部企画政策課
みらい共創係長 三浦 一将 様
(紹介者 寺田 博正 会員)
※ RYLA セミナー受講生報告
(青少年奉仕委員会)
(6/12) ……クラブ協議会
次年度委員会別事業計画の検討
- 13:00 14. 本日のプログラム
卓話「自動車業界における資源循環
～昨今の潮流」
講師 豊通マテリアル株式会社
代表取締役社長 原口 博仁 様
(紹介者 寺田 博正 会員)
15. 謝 辞

16. 点 鐘……………〈副会長〉

17. 閉会宣言

13:30 18. 散 会

ゲ ス ト

豊通マテリアル株式会社
戦略企画室 室長 高泉 世祐 様

出 席

会員総数 98名 出席免除 24名
出席義務者+免除者の内例会出席者 90名
欠 席 11名 出席率 87.78%
前々回 (5/15) の修正出席率 100%

幹 事 報 告

- 1) 本日、服部智会員が入会されましたので会員数を98名と訂正致します。服部智会員は会場委員会の配属となります。
- 2) 本日例会終了後、特別会議室にて歴代会長会議を開催致します。関係の会員は、ご出席よろしくお願い致します。
- 3) 6月より、商工会議所の駐車場がすべて使用可能となります。それに伴い隣の大興運輸さん、杉浦仏壇店さん、すしの平八さん前の駐車はできなくなりますのでよろしくお願い致します。

副会長あいさつ

南 康



新型コロナウイルス感染症が、日本では本年5月8日に感染症法上の位置づけが、2類相当から5類になりました。

皆さんご存知の通り、感染症対策も国民の主體的な選択を尊重し、個人や事業者委ねるといことで、

うがいや手洗いは奨励されてはいるものの、マスクは自

由になっています。先週も国内線に乗りましたが、「マスク着用はお客様の自由です」とわざわざアナウンスをしていました。

2019年12月に中国ではじまり、旧正月で1月タイに飛び火して以来、3年半にわたる流行でしたがやっと「普通の風邪やインフルエンザのようなもの」になり一安心です。来月6回目のワクチンを接種しますが年1回でいいとのこと、これもホッとしています。

私はタイから2020年5月に日本に帰ってきましたが、その頃は非常事態宣言中で、まだ罹る人も少ないため、帰国すると犯罪者の如く扱われたのを思い出します。

既に帰国のフライトは早朝の羽田、成田着のみで全員PCR検査、陽性ならそのまま入院・隔離。陰性の人も一般交通機関を使わず自宅かホテルに行き2週間隔離ということで、私は陰性でしたがレンタカーを借りて豊田市まで、トイレ休憩はいいが食堂は行ってはいけないと言われて運転し続けました。豊田市のトヨタレンタリースに車を返してから、タクシー・バスが使えず、40分歩いて自宅に戻ったものです。自宅近くで犬の散歩をしていたお隣さんが、挨拶もせずヒターンして家に帰られたのはショックでした。ちなみにレンタカーは1wayでしたので14万とられました。

それを思い返すと本当に涙が出るくらい今の環境に喜んでおります。

さて昨年6月くらいから、中国を除いて、結構自由に行き来できるようになりました。

私も昨年は7月にインドネシア・タイ、8月にアルゼンチン・ブラジル、10月にインド・タイ、11月にタイ、今年は3月にマレーシア・タイ、5月に中国の広州とコロナ前と同様に出張をしてきました。

昨年はまだ国ごとに入国用のアプリに入力したり、3回接種の証明を出したり、PCR検査を各国でやったりでした。飛行機に乗る前も各飛行機会社のアプリに事前情報を入れなくてはとありました。今年はもうほとんどなくて、中国だけビザ申請・抗体検査とアプリ入力がある程度でストレスフリーになりました。

ただ、いかにせん飛行機の便が減ったままで、日本でも羽田・成田は戻りつつありますが、セントレアはコロナ前の1割の国際線しか飛んでいません。

今月になって中国行きが少し増えましたが、毎日定期的に午前中第1ターミナルを出るフライトは、バンコク行きのタイ航空とハノイ行きのベトナム航空のみでした。今月から中華航空台北行きと大韓航空ソウル行き、UAのグアム行きが復活しますが、あとは週3～5便で、いまだにサクララウンジなど空いてません。昨年も移動日だからビールでも飲もうと思って2時間前にセントレアに行ったら、1,000円のドリンクチケットをもらいましたが早朝あいていたのはコメダだけで、仕方なくモーニングを食べました。コロナ中に人を削減したせいもあり荷物検査だけはいまだすごい人で、セントレアもそうですが、羽田など6時に行っても30分待ちでいつ復旧するのかと思います。

ただ海外に行くと、場所にもよりますが70%の人はマ

スクをしていません。先週の広州ではレストランの人がしているくらいで、食事が終わって外に出ると、100%マスクなし。どこの国も欧米人、韓国人を中心にすごい人出です。

あと半年もすると完全にコロナ前に戻るのかなあというのが海外出張をしていてこのところ感じる所です。今は円安で、現地で食事をしたり、ホテルに泊まったり、日本円に計算しなおすとびっくりしますが、皆様も仕事にレジャーにそろそろ足をのばしてはいかがでしょう？！

新 会 員 紹 介

氏 名	服部 智 ^{はっとり さとる}
生年月日	昭和50年8月5日
推 薦 者	杉浦世志朗 会員
職業分類	証券業
事業所名	東海東京証券株式会社
役 職 名	刈谷支店長
所属委員会	会場委員会



退会会員あいさつ



菊地 康英 会員



丹羽 基実 会員

「自動車業界における資源循環～昨今の潮流」

講師 豊通マテリアル株式会社
代表取締役社長 原口 博仁 様



本日は、「自動車業界における資源循環の昨今の潮流」について、以下3つのパート構成でお話させていただきますと思います。

【1】SDGs

「SDGs」とは、国連サミットで採択された2030年に達成するために掲げた17の持続可能な国際開発目標であり、その中には、循環型経済（CE：サーキュラーエコノミー）、脱炭素社会（CN：カーボンニュートラル）に向けた取組み目標があり、この二つは密接は相関関係にあると考えられます。

【2】自動車業界を取り巻く環境

自動車業界におきましても、このCN、CE実現に向けて、地球温暖化対策（CO₂排出）として世界各国で新車販売に対する規制（ガソリン車⇒電動車）、新車製造時の目標（再生材使用率）、使用済自動車の適正処理（再資源化）など様々な施策が打ち出されてきており、時代は単なる一部の再生利用から、CE（素材循環、製品循環のループ）のステージへの移行が強く求められ始めています。

【3】自動車のリサイクル

自動車に使用される主な素材として大別すると、鉄系（約60%）、非鉄金属系（約15%）、他/樹脂・ゴム等（約25%）で構成されていますが、回収、解体された使用済自動車のリサイクルフローは素材によって異なっています。

アルミ（エンジン系鋳物材、ボディパネル材）は、“Car to Car リサイクル”・“水平リサイクル”が確立されつつありますが、鋼板（ボディパネル）、銅（ワイヤーハーネス）などは、“カスケードリサイクル”と言われる自動車以外の他産業や元の製品とは違う他製品に再利用、樹脂（バンパー）は“サーマルリサイクル”という熱源利用（エネルギー）されており、Car to Car、素材循環、製品循環のニーズは高まるばかりです。

